



株式会社ヒロハマ 社内報

<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとなって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

| 8月迄業績 | 計画 | 実績 | 差異 | % | 昨年比 | % | 12月迄成り行き | 昨年度実績 |
|-------|---------|---------|--------|-------|--------|--------|---------------|---------------|
| 売上 | 291,795 | 284,076 | -7,719 | 97.4% | 27,232 | 110.6% | 429,047 万円 | 403,780 万円 |
| 営業利益 | 11,524 | 15,233 | 3,709 | 132.2 | 6,446 | 173.4 | 20,023(4.67%) | 15,463(3.83%) |

<8月は先月に続き売り上げ低迷

／辛抱のときを凌ぎ巻き返しへ>

いつまで続くかと思われた猛暑も、彼岸を過ぎてようやく秋めいてきました。季節の変わり目は服装のチョイスも難しく(私は特に苦手で季節感がないとよく指摘されます)、風邪予防に努めていただくようお願いいたします。特に、今年はインフルエンザがコロナ禍以降で最も流行しているようです。例年、千葉工場、大阪工場では集団接種を11月にお願いしていましたが、今年は既に大流行していることもあり10月に前倒しで手配しています。ご自身の感染予防と社内感染拡大予防に皆さんご協力をお願いします。

8月の業績を振り返りますと、7月以上に売り上げが低迷し、特に関東管轄で不振が目立ちました。その影響もあり営業利益は単月で赤字となり、目標に掲げている年間1億8,000万円達成に足踏み状態です。それでも、東西営業がしっかりと材料高騰分を値上げしてくれた為、利益を出しやすい体質になっているので悲観せず、虎視眈々と巻き返しを皆さんと図っていきたくと思います。

【全社品質目標の8月度達成状況】

安全第一 労災事故0件：8月10日に千葉にて労災発生。昨年労災多発を受け今年度はゼロを命題としてきましたが、残念ながら1件発生し未達となりました。幸い大事には至らっておらず、千葉工場には今後の再発防止に努めてもらいます。

大阪は8月末時点で204日間無事故無災害継続中。

品質クレーム：千葉3件(社外3件)-累計11件(社内0件、社外11件)
大阪0件 -累計3件(社内0件、社外3件)

全社年間目標21件以内に対し14件。千葉工場の年間目標である社外クレーム10件以内は未達。社外製品のクレーム歯止めが目前の課題となっています。

納期遅れ：なし

コストダウン：計画440⇒実績452(102%) 累計4,423万円(125%)

新規品売上：東営 計画607⇒実績447万円(73% - 累計82%)

大営 計画141⇒実績63万円(44% - 累計76%)

稼働率：千工 目標81% ⇒ 83.4%(通年82.2%)

大工 目標79% ⇒ 83.6%(通年81.6%)

東西ともに好調維持

| 8月単月 単位:万円 | 売上 | | 営業利益 | | 営業利益累計 | |
|---------------|--------|--------|------|------|--------|--------|
| | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 |
| 東京営業所 | 23,508 | 19,883 | 703 | 441 | 8,040 | 9,917 |
| 千葉工場 | 21,142 | 18,296 | 23 | -600 | 2,293 | 1,340 |
| 大阪営業所 | 13,019 | 12,732 | 140 | 371 | 2,398 | 4,671 |
| 大阪工場 | 10,682 | 9,861 | -307 | -648 | -1,206 | -696 |
| 全社 | 36,527 | 32,615 | 559 | -436 | 11,525 | 15,232 |

<健康優良企業認定証で100点満点を取得しました>

「従業員の健康は企業の誇り。活気ある職場は従業員の健康づくりから」というテーマをもとに、東京都からヒロハマは「健康優良企業認定証(銀の認定証)」を受けており、1年毎に更新審査を受けているのですが、今年8月末の更新時は、これまで目指して達成できていなかった100点満点を達成することができました。

鉄二健保より「おめでとうございます」とのことでした。当社は今後これまでに以上に健康

経営に向け具体的な取り組みを進めていきたいと考えています。

皆さんも健康第一にて、仕事に取り組んでいただくようお願いいたします。私も健康診断の内容が年々悪化している自覚がありますので、食事改善、適度な運動に努めていきます。

9/25 廣瀨 庄一郎



<人を生かす経営>(14)

【2】相互尊重(7)

(4)意見の尊重

多数決をしない同友会

私が深くかかわっている中小企業家同友会では「民主的な運営」を大切にしています。その特徴的な運営の進め方は「全員一致を基本とする」こと。多数決で物事を決めるのは最後の最後、どうしてもその日までに決めなければならない場合に限られています。

これって、実際の場面では、とつても面倒くさいことになります。決まりそうになっても、面倒くさい人が面倒くさい異論を述べたりしますので、なかなか決まらない。

それでも、極力多数決では決めないようにしています。皆さんは、民主主義とは多数決で決めること、と思っていないが？これは大きな間違い。多数決は、民主主義における最悪の決め方とも言われています。

例えば、私は喫煙者ではありませんが、「タバコにかかる税金を一

気に5倍にする」というような法律を、数の多い非喫煙者の賛成多数で決めていいとは思いません。少なくとも「数の論理だけで決めてはいけないこともある」ということだけは、お互い理解しておきたいところです。

少数意見や違う立場からの意見で本質論議

外部や部下からといった違う立場からの意見は貴重です。また同じ立場にあっても一人ひとり違う意見を持っていたりします。自分とは違う意見であっても、一定の説得力を持つことが少なからずありますので、頭からそれをはねつけるのではなく、真摯に受け止めて本質的な論議に入っていくことを大切にしたいものです。

普通の組織でも、少数意見を尊重して本質的な論議に発展させることは簡単ではありません。まして「ものを言えない空気」「忖度しなければならない企業文化」があったりしますと、意見そのものが出てこなくなりますので、相当に意識して風通しの良い組織をめざしていく必要があります。

9/25 廣瀨 泰久